

グリーンケアの実際

2016. 7. 16

医療法人財団 秀行会
桜台訪問看護ステーション
管理者 内田 幸子

当ステーションの概要

- 平成11年開設
- スタッフ 常勤ナース3名、非常勤ナース1名
非常勤作業療法士1名、常勤事務員1名
- 利用者 65人前後
- 年間死亡者数 20～29人(うち在宅看取り8～12人)


当ステーションのグリーフケア

- 看取り後1ヶ月頃に遺族訪問
ご家族のその後の様子、私達の振り返り。
- 看取り後6か月と1年頃お手紙を出し故人をしのび、その後のご家族の様子を伺い、配慮するようにしている。
- メモリアルの会の開催 年1回
過去3年ぐらいの間に亡くなられた家族の方にご案内しお集まりいただき、今の心境など語らう場を設け、スタッフも学びを得る会を開催している。

メモリアルの会

- 平成18年から開始、1年1回2時間程度
- 内容 自己紹介・演奏会や講演会、DVD鑑賞、など
フリートーク お茶を楽しみながらお菓子を準備し
お茶会として開催
- 準備 3か月前より企画、2か月前招待者の選定、案内状
発送、2～3週間前必要物品準備、前日設営
- 会場 会議室
- 会費 参加費500円徴収し、相当のおみやげを準備、
設営や経費3～4万円ST予算から計上する。
- 人手 準備や設営すべてスタッフで行い、講演や演奏は
ボランティアでお願いします。





メモリアルの会

平成26年9月20日 14時~16時

桜台訪問看護ステーション







メモリアルの会の効果

- 参加者は会の中で当時を振り返り、涙したり楽しかった思い出をみんなで共有し笑いあったり。一同に来てよかった。他の参加者と状況は違っていても、思いを共有し合って一人ではないという思いを抱いて帰れた。と返事をいただいている。
- スタッフは達成感は味わっている。

メモリアルの会の課題

- 参加者が少ない。案内しても返事が返ってこない。
- スタッフ内でも開催する意味が見いだせない。
スタッフ自身の肉親の死別経験の中で触れられたくない
思いがあり、この会を開催してほんとにいいのだろうか？
と自問している。